

## ワクチン 情報報告書

# Tdap(破傷風、ジフテリア、百日咳) ワクチン: あなたが知るべきこと

ワクチン 情報 報告書の大半は、スペイン語と他の言語にてご利用できます。  
www.immunize.org/vis を御参照ください。

Hojas de información sobre vacunas están disponibles en español y en muchos otros idiomas. Visite www.immunize.org/vis

## 1. なぜ予防接種を受けるのですか?

Tdapワクチンは破傷風、ジフテリア、百日咳を予防することができます。

ジフテリアと百日咳は人から人へと広がります。破傷風は切り傷や傷口を通して体内に入ります。

- **破傷風(T)**は筋肉の痛みを伴う硬直を引き起こします。破傷風は口を開けられない、嚥下や呼吸に問題をおこす、または死を含む深刻な健康問題につながる可能性があります。
- **ジフテリア(D)**は、呼吸困難、心不全、麻痺、または死につながる可能性があります。
- **「百日咳」(aP)**は、コントロールの不可能な激しい咳を引き起こし、呼吸、食事、飲み物を飲むことを困難にする可能性があります。百日咳は、特に赤ちゃんや幼児において非常に深刻であり、肺炎、痙攣、脳損傷、または死を引き起こす可能性があります。十代の若者や成人では、体重減少、膀胱の調節不能、気絶、重度の咳による肋骨骨折を引き起こす可能性があります。

## 2. Tdap ワクチン

Tdapは7歳以上の子供、青少年、大人のみを対象としています。

青少年は、11歳または12歳でTdapを一回接種することがが好ましいとされています。

妊娠中の方は、百日咳から新生児を守るために、妊娠の毎に、好ましくは妊娠第3期の早い時期でTdapの接種を受けてください。百日咳による重篤で生命を脅かす合併症にかかるリスクが最も高いのは乳児です。

成人でTdapを一度も受けたことがない方はTdapの接種を受けてください。

また、成人はTdapまたはTd(百日咳以外、破傷風とジフテリアの予防はする異なるワクチン)を、10年ごと、あるいは重度や汚染された傷害または火傷を受傷した5年後に追加接種してください。

Tdapは他のワクチンと同時期に接種しても問題ありません。

## 3. 医療提供者に相談する

ワクチンの接種を受ける方が次の状況にある場合は予防接種提供者にその旨を通知してください。

- 破傷風、ジフテリア、または百日咳から保護するワクチンを以前に接種をうけた後にアレルギー反応を起こした、または重度で生命を脅かすアレルギーを有することがある
- 百日咳ワクチン(DTP、DTaP、またはTdap)の前の接種後7日以内に昏睡、意識レベルの低下、または脳痙攣の発作が長期化したことがある
- 脳痙攣の発作または他の神経系の問題がある
- ギランバレー症候群(「GBS」とも呼ばれる)を患ったことがある
- 以前の破傷風やジフテリアを予防するワクチンの接種後に激しい痛みや腫れが起こったことがある

場合によっては、あなたの医療提供者は先の来院までTdapワクチン接種を延期すると決定するかもしれません。



U.S. Department of  
Health and Human Services  
Centers for Disease  
Control and Prevention

風邪などの軽度の病気の方は予防接種を受けても問題ありません。。中等度または重度の病気の方は通常回復するまでTdapワクチンの接種を控えてください。

さらに詳しい情報は、医療提供者に問い合わせてください。

---

## 4. ワクチン反応のリスク

---

- ・ 接種を受けた場所での痛み、発赤及び腫れ、軽い発熱、疲労感、吐き気、嘔吐、下痢、または腹痛がTdapワクチン接種後に時に起こることがあります。

時として、ワクチン接種を含む医療処置の後に失神することがあります。めまい、視覚の変化や耳鳴り等が生じた場合は、医療提供者にお伝えください。

他の薬品と同様にワクチンが重度のアレルギー反応、重篤な傷害または死を引き起こす可能性は非常にまれです。

---

## 5. 深刻な問題が発生した場合はどうすればよいですか？

---

アレルギー反応は、ワクチンの接種を受けた方が診療所を出た後に起こることがあります。重度のアレルギー反応(じんましん、顔や喉の腫れ、呼吸困難、急速な心拍、めまい、または衰弱)がみられる場合には、**9-1-1**に電話し、その方を最寄りの病院にお連れ下さい。

その他の懸念事項については、医療提供者にお電話をおかけください。

副作用は ワクチン有害事象報告システム (VAERS)に報告する必要があります。あなたの医療提供者は通常、このレポートを提出しますが、あなた自身で行うこともできます。

[www.vaers.hhs.gov](http://www.vaers.hhs.gov) のVAERSウェブサイトをご覧ください。ただか、**1-800-822-7967**。までお電話ください。VAERSは反応を報告するのみの機関であり、VAERSのスタッフは医学的アドバイスは提供いたしません。

---

## 6. 全米ワクチン被害補償プログラム

---

全米ワクチン被害補償プログラム(VICP)は、特定のワクチンによって負傷した可能性のある方々を補償するために作成された連邦プログラムです。ワクチン接種による傷害または死亡の申し立てに関する請求には提出期限があり、最短で2年になる場合があります。[www.hrsa.gov/vaccinecompensation](http://www.hrsa.gov/vaccinecompensation) のVICPウェブサイトにアクセスするか、**1-800-338-2382** にお電話し、プログラムと請求の提出についてお調べください。

---

## 7. もっと詳しく知るには？

---

- ・ 医療提供者にお問い合わせください。
- ・ お住まいの地域または州の保健局にお電話ください。
- ・ 食品医薬品局(FDA)のウェブサイトでのワクチンの添付文書と追加情報をご覧ください。  
[www.fda.gov/vaccines-blood-biologics/vaccines](http://www.fda.gov/vaccines-blood-biologics/vaccines)
- ・ 疾病管理予防センター(CDC)にお問い合わせください。  
- **1-800-232-4636 (1-800-CDC-INFO)** または  
- [www.cdc.gov/vaccines](http://www.cdc.gov/vaccines) のウェブサイトをご覧ください。

